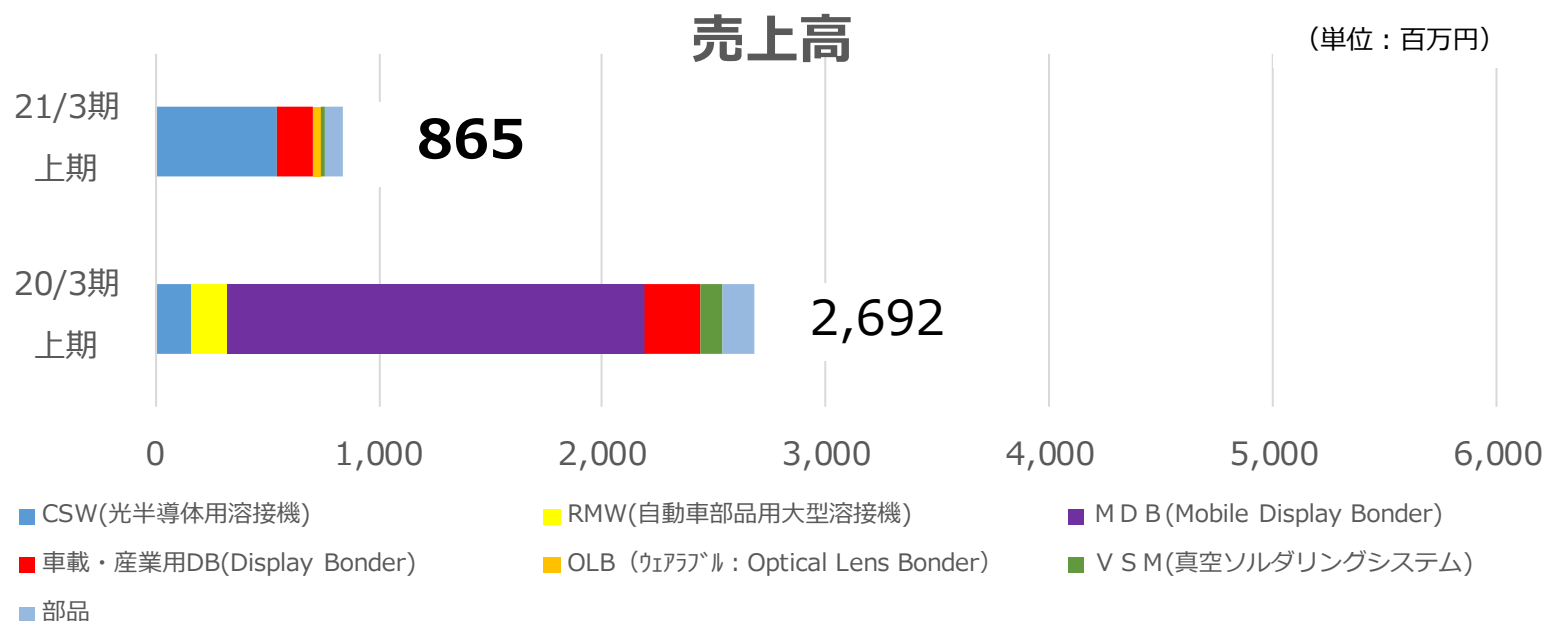


メカトロニクス事業



21/3期 上期 連結売上高概況

- CSW (光半導体用溶接機) と車載・産業用DB (Display Bonder)が売上寄与
- スマホ市場の成熟化によりMDB需要鈍化
- 新型コロナで設備投資抑制への影響大

21/3期 通期 連結売上高業績予想25億円

今後の収益改善策

- 市場別戦略による拡販強化
- 貼合せ技術をウェアラブル市場へ拡大
- 原価低減による収益向上
(原価低減：中国における更なる海外生産推進)
- 新規市場探索とその深耕

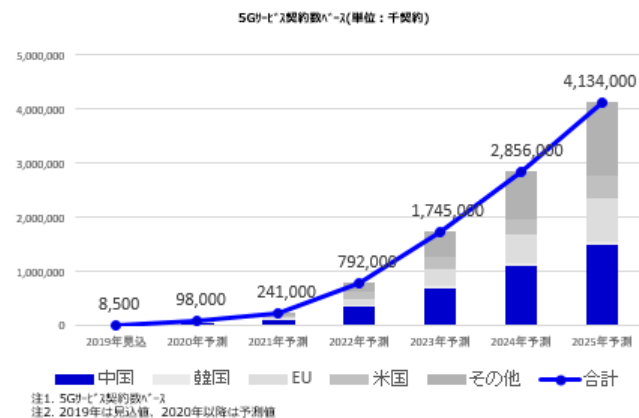
※下線部は次ページにて詳細説明

メカトロニクス事業 今後の収益改善策詳細

市場別戦略による拡販強化

- **車載・産業用DB (Display Bonder)**
 - ・車載用途市場に注力(日本・中国・欧米・他)
 - ・車載ディスプレイの需要が加速
(脱炭素社会実現へ注目される電動化)
(運転支援システムを含む自動化技術の進化)
 - ・意匠性重視が強まる市場ニーズへの提案力強化にて差別化
- **CSW(光半導体用溶接機)**
 - ・光通信市場に注力(中国・台湾)
 - ・5Gインフラの急拡大が進む『中国市場』が最大ターゲット
 - ・高精度製品市場への拡販 (高精度位置合せによる付加価値向上)

5G(第五世代移動通信システム)主要国サービス契約数予測

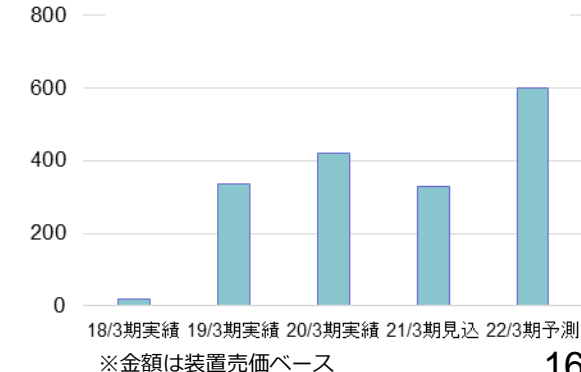


出典:2019年版5G移動体サービス市場展望 (矢野経済研究所)

原価低減による収益向上

- **標準機の更なる海外生産推進**
 - ・18/3期から中国での標準機生産に取組み開始
 - ・21/3期以降も海外生産を推し進め、更なる原価低減を図る。

メカ事業の海外生産推移



メカトロニクス事業 今後の収益改善策詳細

貼合せ技術をウェアラブル市場へ拡大

オリジンの貼合技術は
スマートフォンから車載・産業用ディスプレイ
そしてウェアラブル（VR・AR）へ



MDB 2010～
スマートフォン

DB 2017～
車載・産業用ディスプレイ

OLB 2020～
光学レンズ

開発に取り組んで参りました光学レンズ貼合せ装置を、
今下期からウェアラブル市場へ投入いたします。
ウェアラブルは企業向け(医療、工場、教育、シミュレーション等)、
そして一般向け(ゲーム、アミューズメント等)への大きな広がり
が期待されます。今後はメカトロニクス事業の基幹事業のひとつ
として捉え、更なる拡販に挑みます。

●ヘッドマウントディスプレイ（HMD）の世界市場【VR表示機器】



●スマートグラスの世界市場【AR表示機器】



出典: 富士キメラ総研2020年8月22日PRESS RELEASE

※MDB Mobile Display Bonder (モバイル用ディスプレイ貼合せ装置)
 ※DB Display Bonder (車載・産業用ディスプレイ貼合せ装置)
 ※OLB Optical Lens Bonder (光学レンズ貼合せ装置)

※VR Virtual Reality (仮想現実)
 ※AR Augmented Reality (拡張現実)